

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org



【木蓮】

写真提供：鈴木舜光君

会長：青島 彰 副会長：仲田 廣志 幹事：大塚 博巳 副幹事：池ノ谷 敏正

第1947回

- ソング 君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー 栗原 毅君



【2011-2012年度 RIテーマ】

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

カルヤン・パネルジー

会長報告

青島 彰君

昨日は、冠講座の第2回目の講師を務めました。
「巨大地震から身を守る」と題して3連動地震、地震時の避難の方法とかを話してきました。30年以内に起きる確率が80%を超えるとされています、切迫性のある話題ですから少しでも意識して欲しくて取り上げた訳ですが、昼過ぎの講座と言うことから気持ちよさそうに沈没している学生も結構いました。

ネット検索をしていましたら次のような記事がありましたので紹介します。

「海は見たくない。もう二度と立たない」
そう思っていた。でも、夫に誘われ、久しぶりに海辺に立った。そこには、かきの養殖再起に向けて、共同でいかだづくりに励む仲間たちの姿があった。

「正直なところ、気持ちが少し吹っ切れた部分があるんですよ。こんなに皆が頑張っているんだという姿を初めて見て、自分も少し前向きになった。またお父さん(夫)や皆と一緒に仕事ができるんだという希望も持てたんです」

そう話すのは、岩手県山田町の仮設住宅に夫の甲斐谷郁朗さん(57才)と住むトヨ子さん(52才)。夫妻は、20年余り前から一緒に、かき、ほたての養殖を行ってきた。昨年7月に入居した仮設住宅は、6畳と4.5畳、6畳キッチンが縦に並ぶ間取りの住宅だ。

「仕事がないから、狭い部屋に半日ボツンといて、テレビを見ている。いままで50坪の家にいたから、ここは圧迫感があってね...」

かきの養殖は時間がかかる。湾にいかだを浮かべて、そこから海の中にロープを垂らし、150匹ほどの小さなかきをくくりつける。そこから、出荷できる大きさに成長するまでにはおよそ3年かかるという。

山田町の湾には、震災前に約1000台のいかだが浮かび、甲斐谷さんは、そのうちの20台を所有していた。だが、すべて津波にさらわれた。

しかし、昨年4月ごろ、養殖業の仲間たちが海の瓦礫の中から、運よくかきがついたまま残っていた養殖いかだを270台ほど救出できた。そのかきを足がかりにして、養殖業の仲間たちで共同経営し、かき養殖を再開する案が持ち上がった。

養殖いかだは、生き残った270台にくわえ、皆で新たに700台を購入。1人200万円ずつを出し合った。トヨ子さんはいう

「運がいいほうに考えればいいのか。震災の前年、初めて組合の保険にはいったんです。保険金800万円が支給され、そこから200万円が拠出できたんです。ただ、いくら保険がはいっても、将来のためには食べるお金を築いていかなければいけません」

仮設住宅の入居期限は原則2年間。自治体に申請すれば延長も認められるが、永遠に住むわけにはいかない。新しく住む家のことも考えなければならない。もともと住んでいた土地は「宅地にはなりません」と、町役場から通告された。

不安は多い。だが、確かな希望もある。

「実は、震災後、海がきれいになったんです。皮肉なことに、津波によって、海底のヘドロが掃き

出されたんですね。その結果、かきもすくすく成長するようになったんです。いつもは3年かかるけど、今年は1~2年でできそう。がんばっぺな」(郁朗さん)

藤枝ロータリークラブと創立40周年を通じて縁深い関係になりましたが、被災地にとって少しでも希望のもてる話題でしたので紹介しました。

■ 理事会報告 大塚 博巳君

- 5、6月のプログラムについて承認されました。
- 奉仕プロジェクト委員会事業「会員旅行」の中止が承認されました。
- 予算は最終夜間例会にあてることと決定しました。
- 例会場変更については次年度に引継、継続審議となりました。
- 創立40周年実行委員会より会計中間報告がありました。
- 藤枝ロータリークラブ細則変更について承認されました。
- 5/2クラブ臨時総会の開催が決定しました。

■ 幹事報告 大塚 博巳君

- 第2620地区より
国際大会開会式に関する「緊急の重要なお知らせ」が届いております。
- 第2620地区より
5月のロータリーレートのお知らせが届いております。1ドル=82円です。
- 第2620地区より
高野ガバナーエレクトより挨拶文が届いております。
- 第2620地区より
地区協議会での「ロータリー検定初級編」が届いております。
- 第2620地区より
RI日本事務局 財団ニュースが届いております。
- 第2620地区より
2012年度青少年交換事業実施クラブ募集の案内が届いております。

- 第2620地区より

第11階日韓親善会議開催のお知らせが届いております。

- 藤枝市観光協会より

「宮古島交流団」募集の案内が届いております。

- 松葉隆夫会員より

クラブ会員に新茶のプレゼントが届いております。

冠講座 委嘱状授与

講師に委嘱状が授与されました。



■ 出席報告 小西 啓一君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
33/44 75.00%	31 / 43 72.09%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 石割君 ○大塚高君 ○小泉君 ○酒井君
- 平君 ○新島君 ○平野君 ○水野君
- 江崎晴君 鈴木舜君 仲田晃君

■ スマイルBOX 小西 啓二君

- 地区協議会の集合に間に合わず、送り迎えをして頂きありがとうございました。中森 義次君
- いよいよ新茶が始まりました。4/25藤枝茶初取引、5/1八十八夜、去年は良い年ではなかったが、今年は良い年になる様がんばります。新茶少しずつですが、笑味ください。いつまでも健康で!! 松葉 隆夫君
- 4月25日テーブルメイトDグループの炉辺会合を開いたときの残金をスマイルとます。

村松 英昭君

- いよいよ 61 才！還暦を過ぎ新たな目標を！！・・・これから考えます。 大塚 博巳君
- 結婚記念のお祝いありがとうございます。

柳原 寿男君

- 結婚記念日お祝いありがとうございます。あっという間に 37 年経過しました。これから仲良くします。 大塚 博巳君
- 金婚式に何も出来ず、今頃妻の体調が悪く、全快してから旅行でもと思って居る今日この頃です。 杉山 静一君
- 24 回目の結婚記念日となりました。お祝いありがとうございます。 島村 武慶君
- 結婚祝いありがとうございます。花が届いて初めて「あっ！！そうだ」と解るような年数になりました。二人とも元気です。 鈴木 廣利君

スマイル累計金額 211,100 円

■ クラブ臨時総会

- 定足数：第 5 条会合第 3 節会員総数の 1 / 3 をもって定足数とする。33 名出席で成立。
- 議長選出：第 4 条役員の任務により青島会長を選出。
- 議事：第一号議案クラブ細則変更について承認。クラブ細則第 2 条・第 3 条改訂について出席会員 2 / 3 の承認を持って改訂。

■ 地区協議会報告

● 次年度会長

仲田 廣志君



4 月 22 日の地区協議会のご報告をさせていただきます。私を含めて 13 名で参加しました。マイクロバスで 6 時半に出発、新東名を利用して会場であるアピオ甲府に 9 時半頃に着きました。登録受付を済ませ 10 時半から午前中本会議、昼食を挟んで午後から、分科会そして全体会議が行われ、閉会点鐘は 15 時 50 分頃でした。藤枝には午後 7 時を少し廻った時間となりました。出席し

てくださいました皆さんには、感謝申し上げます。協議会の内容については、PETS 報告させていただいた内容とほぼ同じものでした。重複する所も多いかと思いますが、ご報告させていただきます。

私からは、会員増強委員長の大塚高弘君と出席しましたガバナー補佐、会長・幹事、会員増強・維持の分科会の報告をさせていただきます。

30 年振りの日本人 R I 会長のもと、クラブを活性化すべく活動をしてより魅力あるクラブとなり、会員増強を図りロータリーを進展させていただきたい。各クラブ趣向を凝らした計画を立案実行して、会員の皆さんがロータリアンで良かったと思えるようなクラブを目指していただきたいとお話でした。具体的な取り組みとして、いくつか提言下さいましたので、ご紹介させていただきます。

- 1) ロータリーの指定月間に合わせて、研修リーダーによる研修を例会の中で行いロータリーについての理解を深める。検定試験もいいのではないかな。
- 2) 会員に例会の中で 3 分間スピーチ（ロータリアンであることの魅力、ロータリー活動から与えられる価値等）をしていただきお互いのつながりを実感しよう。
- 3) 意義ある業績賞に挑戦して元気あるクラブを創造しよう。
- 4) R I 会長に挑戦して不易流行を見定め一歩踏み出そう。

会員増強については、98 年に 13 万人いた会員が、今や万人になった。当地区では毎年 100 人くらいずつ減っている。例会を充実して退会防止に努めると共に、ご存じですかロータリー？といった募集用のパンフレットを作成するなどして入会者を募ったり、活動内容等を地域の皆さんに知っていただく活動もしていただきたい。2620 地区は、各クラブ純増 1 名以上をお願いしたい。＜報告事項＞

- 1) 地区大会は、11 月 17 日～18 日 会長、幹事は両日出席のこと。R I 会長同席の朝食会としたい。

- 2) 18日は、9:00～14:00の予定懇親会は、16:00終了予定。分区ごとブースを設けて屋台を出す。各クラブ1万円位で出店の可能性。
- 3) クラブ研修リーダー研修会 10月13日 (in 静岡)
- 4) 例会の中に研修の機会を設けること。
- 5) 地区大会で長寿会員の表彰
現在クラブあるのは、先輩ロータリアンのおかげ。クラブの足跡をまとめよう。

●次年度幹事

池ノ谷 敏正君



勝山パストガバナーを地区研修リーダーとして開催された米山記念奨学委員会に参加しました。

1952年、東京ロータリークラブが米山梅吉氏の活躍を偲んでこの事業を始めたため、日本独自の事業であること。現在まで60年も続いている実績、ビチャイ・ラタクルRI会長が来日した際にも視察され、RIにも認められた素晴らしい事業であるとの説明がありました。

次年度の具体的活動目標としては、「1人16,000円の寄付」が掲げられました。年間700人の奨学生に対し、約15億円の費用がかかっていることから、必要経費を奨学生の人数で割って導き出されたものだそうです。

委員の中からは、我が国政府のように、単純に費用を人数で割ってそれを各食クラブに割り当てるのはいかなものか？ロータリアンの減少が叫ばれている昨今、金額を上げるのではなく、奨学生を減らそうとは思えないのか？等の意見も出てきました。

それらを受けリーダーからは、本年度は前年度よりも100人減らして700人としている旨の説明や、ロータリー財団とは違って強制ではなく、あくまで任意でお願いしているものであるため、

そこは勘違いしないでもらいたいとの説明がありました。

ただ、近くに大学がないクラブでは、特にこの米山についての理解度が薄いのも事実。世話クラブやカウンセラーを経験していないクラブでは、なかなかこの辺りが難しいようで、実際、寄付の無いクラブも何クラブかあるそうです。

公平、不公平とかではなく、その辺りの所は、各クラブでよく話し合っ、もう一度、米山記念奨学会の意味を考えていただきたい、との提言がありました。

もともと財団と異なるスタンスであるがため、「どうでもいい」のではなく、「目標に向かって頑張る体制で協力する」という姿勢で臨んでいただきたい、とのお願いもありました。

●奉仕プロジェクト

委員会

社会奉仕 報告

森下 敏顯君



富士山世界文化遺産登録への支援事業継続とポリオ撲滅活動の継続に取り組んでいきます。特に富士山世界遺産登録に関係して水資源の保存、保護活動を推進します。

7月14日に精進湖にて水草による水の浄化実験を執り行います。これへの参加の連絡があります。

各クラブにおいて水に関する保護、保全の取り組み、実績があれば報告をお願いします。

又、2013年2月23日は富士山の日であり、ロータリーの創立記念日でもあります、この日に各クラブにおいても積極的な支援活動がおこなわれる事を希望します。

●次年度新世代委員会

委員長

玉木 潤一郎君



新世代奉仕セミナーに参加させていただき、ロータリークラブと青少年との関わりを理解することができました。

各クラブごと、取り組みには差異があり足並みが揃っていない状況も見てとることができ、藤枝ロータリークラブのインターアクトクラブへのサポートを継続していくことも貴重で、非常に重要であると感じました。

今年度、微力ではありますが藤枝ロータリークラブの新世代との架け橋を担ってまいりますので、よろしくお願いします。

●次年度ロータリー財団委員会委員長
松葉 隆夫君



ロータリー財団部会、未来の夢計画準備室部会

1. ロータリー財団活動の現況
2. 未来の夢計画移行への準備について
3. 新しい奨学金制度について
(グローバル補助金と新地区補助金)
4. GSE事業とメンバー募集について
5. 地区補助金とマッチンググラントについて
6. 財団学友会（山静学友会）の活動について
7. 活動を支える財団への寄付及びロータリーカードのお願い
8. ポリオプラスと2億ドルチャレンジについて

職業奉仕委員会に出席して 鈴木 廣利君

12時30分から1時間半、職業奉仕の活動方針の基本的考え方についての話がPG牧田静二氏を皮切りに甲府RC金丸委員長等からあり、質疑応答の形で話し合いが進んだ。

地区の活動についての時間になり、藤枝RCの「静岡産大」の当クラブ会員による講義が話題になり、冠講座の説明を牧田PGより求められたので、昨年の状況を説明し、特に90分間の講義をするには、会員自身も勉強し直さなければ講師が務まら

ない事も話してきました。その他特に職場訪問等は会員企業の会議室を借りて、例会場変更等を含めて行っている事を説明しました。後半は活発な意見交換が多く出て、有意義な時間でした。

●次年度クラブ管理運営委員会 クラブ広報担当

池谷 佳典君

2012～2013 年度地区協議会「広報・IT推進部会」
分科会報告

アドバイザー：パストガバナー・研修リーダー

渡辺脩助（三島）

アドバイザー：ガバナーノミニー・研修リーダー

志田洪顕（静岡）

① 現状報告…前田現委員長

② 次年度方針説明…望月次期委員長・広瀬委員
次年度 高野ガバナー

方針：「広報・ITに力を入れていきたい！」

テーマ：「公共イメージと認知度の向上」

●地区内情報の受発信

ホームページの充実

山静学友会、米山学友会、各委員会との連携強化

「お知らせメールシステム」「出席・増強報告システム」の活用推進

ガバナーブログの新設

ガバナー補佐サイトの新設

●地区ホームページの周知

地区ホームページの閲覧、活用をロータリアンに周知

●ガバナー補佐による分区運営支援

ガバナー補佐事務局に分区支援小委員会の委員を囑託して情報収集・発信の強化を担っていただく

●公共イメージ向上のための広報活動推進

RI広報補助金の活用

職業奉仕委員会、社会奉仕委員会事業の広報支援

一般向け情報掲載サイトの活用

You Tube 等動画サイトの活用

地区大会の内容を内外に発信する

- ロータリーの友地区代表委員との連携
代表委員との情報交換を行い「友」への投稿
促進を図る
- 地区HPへのバナー広告スポンサー募集
初期費用：5,000 円 掲載料金：5,000 円 / 年
地区サイトより申し込み

●次年度会員増強委員会 委員長 大塚 高弘君
国際ロータリー第 2620 地区 2011～2012 年度
地区協議会 会員増強・維持委員会 委員会報告
会員増強・維持委員会は、分科会の大半を高野
ガバナーエレクトによるガバナー補佐・会長幹事
向けの話が多く、残りの少ない時間で会員増強・
維持の話は次期会員増強・維持委員会委員長 梅
本実（甲府RC）委員長の話でした。

ロータリーのホームページの活用

「会員増強・退会防止委員会の手引き」がある
から参考にして下さい。

増強目標

各クラブ純増1名 103%アップをしてくだ
さい。

質問と対策について

- ・ロータリークラブはどんな団体ですか？
クラブ研修リーダーによる研修の実施。原点の
確認と共有
- ・ロータリークラブは何をしている団体ですが？
会員の職業奉仕の強化
クラブの地域社会に対する貢献
- ・ロータリーモーメント
ロータリアンである事の魅力を伝える
ロータリー活動からあたえられる価値を知ら
せる
- ・会員基盤の強化を図る
OPEN TO ALL

会員維持について

共有目的を確認する事

出席率を高める事。「出席率が上昇すれば退会者
は減少する。

あるクラブの伊藤会長の増強方法では、

- ・ 会員増強3ヵ年計画
- ・ 増強はクラブ会員全員で
- ・ 誇りあるロータリー活動
- ・ 同好会の活用
- ・ 託児所の設置
- ・ 例会の食事（バリエーションに富み。食事が楽
しい）
- ・ 会費徴収は厳しく、入会は厳粛にメリハリを

●新会員部会 報告 平野 純也君

4月22日に甲府で行われた、第2620地区
協議会に参加してきました。静岡・山梨各県を代
表するロータリアン達が一斉に集まり、会場は熱
気に包まれておりました。本会議に続き、各委員
会に分かれて行う分科会、そして最後に全体会議
と、充実した内容の中行われました。私は、青島
会長、新島会員と共に、「新会員研修」の分科会に
参加しました。

分科会ではまず、高野本男氏が我々新入会員に
対して講義されました。高野氏は、本年87歳を迎
える甲府クラブ最年長者で親子揃ってのロータリ
アンであります。まず、ロータリアンの義務とし
て4つを挙げられました。まず第一に、例会の出
席である。第二に、クラブ会費を納めること。第
三に、機関誌を購読すること。第四に、ロータリ
アンの目的を受託（定款の順守）すること、の四
つを挙げられました。またロータリークラブは、
友人をつくり、各種職業の代表と知り合いになれ
ることは大変大きなメリットである。ロータリー
の目的は職業奉仕であるが、「奉仕しなければならない」と考えると義務になるが、「奉仕をできる」
と考えると、特権であり喜びとなる、と話されて
おりました。

上原勇七氏は講義の中で、ロータリークラブは
新しい人との出会い、それこそが勉強になった。
そして例会等に必ず参加することが、自分にとっ
てプラスになった。本日もこのように皆さんの前
で話す事もまたプラスだし勉強になっていると話
されました。

滝口良信氏は、ロータリークラブは受け身では
なく、積極的に活動することが大事であり、そう

することで、クラブの活動が楽しくなってくる。
また、各地域にあった奉仕活動を行ってください
と話されておりました。

今回の新会員研修の講義内容を元に、先輩会員の
の皆様に一日も早く近づけるよう、今後のクラブ
活動に生かしていきたいと考えております。

◎ 冠 講 座

第 2 回講師

青島彰君

「巨大地震から
身を守るには」



(担当 / 大長)